

第 16 回環境影響評価審査会
 事務局資料
 令和 3 年 2 月 18 日

(仮称) 相模鉄道本線 (鶴ヶ峰駅付近) 連続立体交差事業
 環境影響評価準備書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
0 事業計画	0-1	<p>「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」と交通結節点との関係や今後の土地利用について、どのように考えているのか教えてください。</p> <p>本事業と周辺整備事業の繋ぎの部分について、環境影響評価の図書に記載する必要があるのではないかとということです。 [1/12 審査会]</p>	<p>バスターミナルが駅から離れていることや駅前広場に自動車交通が入れないことがまちづくりの課題であり、今後、地権者の意向を聞き、まちづくりを進めていきます。 [1/12 審査会]</p>	<p>説明済 [1/12 審査会]</p>

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
4 生物多様性	4-1	帷子川親水緑道を改変してしまうと動植物への影響は大きいと思いますが、改変前と同じ状況まで復旧できると考える具体的な工法を教えてください。 [1/12 審査会]	親水緑道は人工構造物なので、同等となるように復旧をします。斜面地については、擁壁等で留める形で復旧を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	4-2	改変前と同じ状況に復旧することは難しいと考えますが、自然の再生について、どのような配慮を考えていますか。 [1/12 審査会]	改変範囲を最小とすることで自然環境への配慮を行い、市民が集う憩いの場としての機能の復旧、強化を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	4-3	移植・播種を行う具体的な場所を教えてください。 [1/12 審査会]	植物で貴重種が発見されていますので、帷子川親水緑道内での移植・播種を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	4-4	帷子川親水緑道を改変せずに駅部を造ることは難しいのですか。 [1/12 審査会]	開削工法以外で駅部を造ることは、安全性や経済的に難しいです。ただし、帷子川親水緑道内の特別緑地保全地区は改変しないよう最大限に配慮した計画です。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	4-5	工事中に影響を受けそうな生物相の把握はどのように考えていますか。 [1/12 審査会]	帷子川親水緑道は市街化が進んでいる中での貴重な緑です。また、帷子川旧河川を利用しながら親水緑道として整備しています。 [1/12 審査会]	説明実施 [1/12 審査会]
	4-6	代替流路の確保はどのような形で検討していますか。 [1/12 審査会]	今後、詳細な施工計画を検討しますが、水が途切れないよう施工計画を考えています。 [1/12 審査会]	説明実施 [1/12 審査会]
	4-7	単純な配管的な流路ですと、生態系の保全措置と一体的に機能しないので、生態系の保全措置と一体的な配慮となるよう検討してください。 [1/12 審査会]	—	説明予定 [本日]
	4-8	代替生育地の有無と播種の方法について教えてください。 [1/12 審査会]	具体的に決まっていますが、近い場所に移植・播種を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
7 廃棄物	7-1	廃棄物の再利用、再資源化率の目標値を示してください。 [1/12 審査会]	コンクリート、アスファルトの再資源化率の目標は立てられますが、汚泥については、裏込め剤や開削後の埋戻しでの再利用を考えています。そのため、どの程度、再利用できるか、現時点では確定できません。 [1/12 審査会]	説明実施 [1/12 審査会]
	7-2	完全に目標を達成できるかは別として、目指すところは示していただきたいと考えます。 [1/12 審査会]	—	説明予定 [本日]
9 水質	9-1	河川の工事排水の排出量を「30 m ³ /時」と設定した理由を教えてください。 [1/12 審査会]	土木工事標準積算基準書を根拠に排出量を設定しています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-2	河川に工事排水を「30 m ³ /時」排出しても影響はないということですか。 [1/12 審査会]	河川の流量には影響しません。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-3	工事排水を公共用水域に排出する必要性が生じた場合とは、どのような場合ですか。 [1/12 審査会]	工事中の事故や施工計画に大きな変更があった場合は、河川に排出する可能性があります。その場合、沈殿槽や pH を調整する処理施設を設けます。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-4	沈殿槽や pH を調整する処理施設は、あらかじめ設置する計画ですか。 [1/12 審査会]	施工計画を立てる際に処理施設等が必要となれば設置します。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-5	工事着手後に処理施設等を設置するのでは、工事が遅れてしまうことがあるのではないですか。 [1/12 審査会]	原則、工事排水は排出基準を満たした上で公共下水道に排出します。 河川に排出する場合は、必要に応じて処理施設等を設置するということです。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
9 水質	9-6	事前に把握できなかった地質が工事中に発見された場合、予測値を超える物質が出る可能性があるのではないですか。 [1/12 審査会]	横浜市で工事排水の水質に係る規制基準を設けており、工事排水は規制基準以下で排出します。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-7	水素イオン濃度と浮遊物質量以外で、環境に影響を与えるものはありませんか。金属イオンなどの有毒性のものが埋まっていることは考えられないのですか。 [1/12 審査会]	水素イオン濃度と浮遊物質量以外で環境に影響を与えるものはないと考えています。今後、残土を排出する際には土砂検定を行い、土壌成分を検討した上で、基準を遵守しながら排出します。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	9-8	掘削機械を洗う際、ノルマルヘキサン等の油は発生しないのでしょうか。 工事に使用した機械を洗浄した時に発生する可能性がありますので、確認できますか。 [1/12 審査会]	基本的に工事中に使用した水は、公共下水道に排出できると考えていますが、確認します。 [1/12 審査会]	説明予定 [本日]
12 地盤	12-1	円形トンネル区間の掘削は、鶴ヶ峰駅から起点側と終点側の両サイドに、2つのシールドマシンが発進する計画ですか。 [1/12 審査会]	起点側か終点側のどちらかに立坑を造り、どちらの一方から発進して到達を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	12-2	シールド工法について、土被りが浅いと陥没のように大きな沈下が生じる可能性があります、土被りはどの程度でしょうか。 [1/12 審査会]	一番浅い所での土被りは5mです。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	12-3	評価項目に「地盤の変動量」とありますが、どのような計測を行いますか。 [1/12 審査会]	工事中において、月に1回程度水準測量の計測を計画しています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	12-4	昨今の事故を鑑み、地表の変位量やシールド工法での土砂の取込み量に注意することが大事と考えます。 [1/12 審査会]	—	
	12-5	沖積粘土層の堆積がないとありますが、基本的に洪積層ということですか。 [1/12 審査会]	洪積層です。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	12-6	洪積層のため圧密沈下の量は少ないということですか。 [1/12 審査会]	洪積層のため圧密沈下の量は少ないと考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
13 安全	13-1	帷子川親水緑道の改変の割合を定量的に教えてください。 [1/12 審査会]	帷子川親水緑道全体の面積13.96ha に対し、改変する面積は0.31ha となります。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	13-2	斜面や地盤の状況を把握し、最適な工法を検討するとありますが、具体的な工法を教えてください。 [1/12 審査会]	今後、詳細な施工計画を検討しますが、急斜面に土留を打ち、十分に斜面の安定を保ちながらの工事を検討しています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
15 地域社会	15-1	交差点需要率を算定する際は、交通量と渋滞長を考慮していますか。 [1/12 審査会]	前提条件として、交通量調査の台数と渋滞長の台数を換算しています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	15-2	既に交通混雑が発生している交差点を工事用車両が走行することについて、どのように考えていますか。 [1/12 審査会]	工事時間や走行ルートで、工事用車両の走行を分散したいと考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	15-3	既に交通混雑が発生している交差点を工事用車両が走行することで、更に混雑が発生し、周辺の交差点にも渋滞が達する影響が考えられますが、そのような予測はしていますか。 [1/12 審査会]	交差点単独毎での検討となります。また、渋滞長が伸びることで別の交差点が新たに著しく混雑状況が悪化する状況はないと考えます。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	15-4	工事用車両の走行は混雑時間帯を避けるなどの工事計画は考えていますか。 [1/12 審査会]	各交差点のピーク時間帯を把握していますので、混雑時間帯を避けるなど、最大限配慮する施工計画を検討します。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
16 景観	16-1	鶴ヶ峰駅側から景観資源である帷子川親水緑道を見た際の景観が評価されていませんが、どのように考えていますか。 [1/12 審査会]	鶴ヶ峰駅は現況の地上駅から地下駅になることや、まちづくりとの整合が図れるようにフォトモンタージュは作成せず、評価はしていません。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱にご注意願います。

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
17 触れ合い活動の場	17-1	工事期間中の保全措置について、どのような代替通路や代替流路を確保する計画としていますか。 [1/12 審査会]	栈橋等で切り回しを行い通路として代替機能となるように施工計画を立てます。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]
	17-2	代替流路について、水量の調節は検討していますか。 [1/12 審査会]	相模湖水系の浄水場の余剰水をポンプアップしており、水が途切れないよう施工計画を考えています。 [1/12 審査会]	説明済 [1/12 審査会]